

平成 25 年 1 月 29 日

大垣市長

小川 敏 様

大垣市新庁舎建設市民懇話会

会長 竹内 治彦

### 大垣市新庁舎に求める機能（あるべき姿）について（報告）

平成 24 年 10 月 16 日、24 契第 103 号にて依頼を受け、大垣市新庁舎に求める機能につき、4 回に渡り検討を実施した結果につきまして、報告書を提出します。

本庁舎は、現在、築 48 年が経過して老朽化が進んでいる上に、平成 7 年から 8 年にかけて実施された耐震診断結果においては、耐震性が低いと判断され、防災拠点施設として十分な役割を果たすことは困難であると言えます。

市役所は、多様化する市民ニーズに総合的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上と効率的な行政運営を実現するための基盤になるべきものです。

よって、当懇話会では、現庁舎の問題点を踏まえた上で、安全性、利便性、効率性などの観点から、市民の生活を支えていく未来の新庁舎のあるべき姿を提言します。

今後、新庁舎建設に向けた基本構想、基本計画策定などにおいては、当懇話会の報告にとどまらず、市民からの意見を反映・集約しながら、更に深く検討を重ね、着実に計画的な新庁舎建設推進を切に期待します。